

## コニカミルタ株式会社

### 2018 年（平成30年）3月期 決算説明会

#### 主な質問と回答

日 時： 2018 年 5 月 14 日（月） 17:30 ～ 18:30

場 所： イイノホール&カンファレンスセンター

#### <ご留意事項>

「主な質問と回答」は、決算説明会に出席になれなかった方々の便宜のため、参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

#### 【全社業績に関して】

Q. 営業利益から特殊要因を除くと、2017 年度の利益水準はどの程度だったのか、2018 年度の業績予想の営業利益はどのような水準を見込んでいるのかを教えてください。

A. まず 2017 年度については、営業利益は 538 億円でしたが、特殊要因のプラスとマイナスを差し引いた 80 億円が含まれていますので、事業による営業利益は約 460 億円ということになります。2018 年度については、同じような考え方で事業による貢献利益は 550 億円程度も見込んでいます。

#### 【事業に関して】

Q. オフィスに関して、5 ページでは MIF（複合機の設置台数）と PV（プリント枚数）が伸びていると言っていますが、39 ページに記載されているノンハードの対前年伸長率はマイナスになっています。その関係を説明してください。

A. ノンハードの売上には価格という要素があり、同業他社の価格攻勢の影響を受けて、上期は減収傾向にあったことは事実です。下期はそれが徐々に改善しており、地域別にみますと北米は 4Q はプラス 1%と増収となりました。

Q. ワークプレイスハブは面白い取り組みとして注目されていますが、市場で受け入れられて収益貢献するまでにどの程度時間を要するとみているのか、その点について教えてください。

A. 今ターゲットと定めている中堅・中小企業、中小の製造業のお客様については、2018 年度から顧客価値を評価いただいて売上計上できる形に持ち込めると想定していますが、グループ全体に利益貢献するという意味においては、2021 年度という時間軸で考えています。

Q. バイオヘルスケア事業では、2018 年度に売上を拡大する計画になっていますが、その背景と施策について教えてください。

A. Ambry 社については従来強かった遺伝子カウンセラーのチャネルに加えて、がん専門医のチャネル構築を進めています。また当社にとって補完関係となるアライアンスパートナーとの協業も生かして営業力を強化します。

Q. バイオヘルスケアについては、Ambry 社、Invicro 社を加えて、将来的にどのような戦略を描いているのか、について教えてください。

A. 根本にあるのは当社が開発した HSTT というタンパク質の検出技術であり、HSTT をその分野で最先端をいく米国で評価していただいて Ambry 社の持つ遺伝子の技術と合わせたトップレベルのサービスを米国で提供すること、創薬支援においても HSTT で米国市場での勝負に勝って、日本にそれを持ち込むこと、を目指しています。

こうした構想があって、戦略的に行った買収であったということをご理解ください。

以上